

令和7年度「高等学校課題発見・解決学習推進プロジェクト」に係る
未来を生き抜くためのエージェンシー育成プログラム委託業務
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）

項 目		内 容
1	日 時	令和7年4月23日（水）9時15分から11時00分まで
2	場 所	Zoomによるオンライン実施
3	出席委員	広島県教育委員会事務局学びの変革推進部 高校教育指導課長 広島県教育委員会事務局管理部 総務課長 地域政策局 平和推進プロジェクト・チーム担当課長 広島県教育委員会事務局学びの変革推進部 義務教育指導課長 広島県教育委員会事務局学びの変革推進部 個別最適な学び担当課長
4	議 題	プレゼンテーション審査
5	担当部署	広島県教育委員会事務局学びの変革推進部高校教育指導課
6	開催方法	オンライン
7	議事内容	<p>1 審査方法 提案された企画提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最優秀提案者の選定を見送った。</p> <p>2 審査結果 (1) 審査対象者 ア 株式会社 Study Valley イ 株式会社 JTB 広島支店 (2) 審査対象者の評価値 審査対象者の評価値については、別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり。 (3) 非選定者及び非選定理由等 ア 株式会社 Study Valley 評価点の合計が、「提案書評価基準」に定める最低基準点（150点）を超えなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本プロジェクトを通じて、育成したい資質・能力は明確化されており、本件の目指す内容とも合致している。 ・高等学校の探究活動における「課題設定」のさせ方など、探究のポイントを押しさえて支援を行い、プロジェクトを終了したあとも参加生徒が自校での探究活動のリーダーとなれる力を育成しようとしている点は評価できる。 ・提案者の強みの1つとして、プラットフォームをベースに提案している。 ・本分野に係るノウハウや実績は一定程度有しており評価できる。

・経済産業大臣賞を受賞するなど、全国の多くの学校等での実績はある。

・具体的な実施体制について言及が十分ではなかった。

・業務内容において、一部趣旨への理解が十分でない点や実施体制について、具体性に欠ける点が見られた。

・これまでの聞き取り経験があることから、被爆体験者からの聞き取りは実施しないと明言していることについては、多様な価値観を含んだ探究となるのか、懸念は感じられる。実施体制について、もう少し具体化が必要と感じる。

・遂行能力や実施体制についても、具体的に乏しく、参加した生徒の様子を見てから、今後検討する内容が多く、一年間でプロジェクトを完遂できるか不安が残る。

・プラットフォームの活用が中心であり、研修会や MTG、対面セッション、国際会議についての具体的な提案がなく、プロジェクトの目的を達成することは難しいと考える。

・プラットフォームそのものの説明がないため、業務の実行性について疑問が残る。また、遂行能力について、提案書に記載がないため、評価できない。

イ 株式会社 J T B 広島支店

提案書及びプレゼンテーションの内容から、主要な業務の再委託を予定しており、再委託を禁止する契約書（約款）に沿った提案となっておらず、評価ができない。